

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017001	●ドイツ語Ⅰ(M4~6)	和	E	目正勝	1年,2年,3年,4年	前期	金3	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017002	●ドイツ語Ⅰ(M1~3)	和	E	目正勝	1年,2年,3年,4年	前期	金4	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017003	●ドイツ語Ⅰ(T1~5)	和	E	古賀正之	1年,2年,3年,4年	前期	金3	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017004	●ドイツ語Ⅰ(T6~10)	和	E	古賀正之	1年,2年,3年,4年	前期	金4	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017005	●ドイツ語 Ⅰ(D1・2_K1~4)	和	E	清原明代	1年,2年,3年,4年	前期	木3	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017006	●ドイツ語 Ⅰ(L1~6_F1~3)	和	E	山下哲雄	1年,2年,3年,4年	前期	月3	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017007	●ドイツ語Ⅰ(E1~8)	和	E	葉柳和則	1年,2年,3年,4年	前期	水2	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590017008	●ドイツ語Ⅰ(P1・2)	和	E	仲井幹也	1年,2年,3年,4年	前期	水1	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590019001	●ドイツ語Ⅱ(M4~6)	和	E	目正勝	1年,2年,3年,4年	後期	金3	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590019002	●ドイツ語Ⅱ(M1~3)	和	E	目正勝	1年,2年,3年,4年	後期	金4	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育ドイツ語	20130590019003	●ドイツ語Ⅱ(T1~5)	和	E	古賀正之	1年,2年,3年,4年	後期	金3	~
2013年度	教養教									

## シラバス一覧

シラバス (教養教育科目)	育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590019004	●ドイツ語Ⅱ(T6～10)	和	E	古賀 正之	1年,2年,3年,4年	後 期	金 4	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590019005	●ドイツ語 Ⅱ(D1・2_K1～4)	和	E	清原 明代	1年,2年,3年,4年	後 期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590019006	●ドイツ語 Ⅱ(L1～6_F1～3)	和	E	山下 哲雄	1年,2年,3年,4年	後 期	月 3	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590019007	●ドイツ語Ⅱ(E1～8)	和	E	葉柳 和則	1年,2年,3年,4年	後 期	水 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590019008	●ドイツ語Ⅱ(P1・2)	和	E	仲井 幹也	1年,2年,3年,4年	後 期	水 1	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021001	●ドイツ語 Ⅲ(2L1～3_2F1～3)	和	E	目 正 勝	2年,3年,4年	前 期	金 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021002	●ドイツ語Ⅲ(2P1・2)	和	E	古賀 正之	2年,3年,4年	前 期	金 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021003	●ドイツ語Ⅲ(2E1～8)	和	E	清原 明代	2年,3年,4年	前 期	木 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021004	●ドイツ語 Ⅲ(2D1・2_2T1～3)	和	E	山下 哲雄	2年,3年,4年	前 期	月 1	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021005	●ドイツ語 Ⅲ(2M(独1))	和	E	山下 哲雄	2年,3年,4年	前 期	月 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021006	●ドイツ語 Ⅲ(2T4～10)	和	E	田口 武史	2年,3年,4年	前 期	火 1	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590021007	●ドイツ語 Ⅲ(2M(独2)_2K1～4)	和	E	田口 武史	2年,3年,4年	前 期	火 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590023001	●ドイツ語 Ⅳ(2L1～3_2F1～3)	和	E	目 正 勝	2年,3年,4年,5年,6年	後 期	金 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590023002	●ドイツ語Ⅳ(2P1・2)	和	E	古賀 正之	2年,3年,4年,5年,6年	後 期	金 2	～
2013年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養 教育 ドイ ツ語	20130590023003	●ドイツ語Ⅳ(2E1～8)	和	E	清原 明代	2年,3年,4年,5年,6年	後 期	木 2	～

育科目)	ツ語										
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育 ドイツ語	20130590023004	●ドイツ語 IV(2D1・2_2T1~3)	和	E		山下 哲雄	2年,3年,4年,5年,6年	後期	月1	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育 ドイツ語	20130590023005	●ドイツ語 IV(2M(独1))	和	E		山下 哲雄	2年,3年,4年,5年,6年	後期	月2	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育 ドイツ語	20130590023006	●ドイツ語 IV(2T4~10)	和	E		田口 武史	2年,3年,4年,5年,6年	後期	火1	~
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養 教育 ドイツ語	20130590023007	●ドイツ語 IV(2M(独2)_2K1~4)	和	E		田口 武史	2年,3年,4年,5年,6年	後期	火2	~



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017001	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(M4～6)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	M4～6		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業のねらい	<p>（ドイツ語共通シラバスから） ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。</li> <li>・発音やドイツ語文の朗読練習もする。</li> <li>・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。</li> </ul>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。</li> <li>・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</li> </ul>		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 （共通シラバス）</p> <p>1、発音</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母音：特にei、ey、eu、äu、ie の発音、長母音か短母音かの区別</li> <li>・子音：音節末のb・d・g、ch、語末のig、j、qu、s、ss、ß、語頭のsp・st、sch、tsch など</li> <li>・基数と西暦の読み方</li> </ul> <p>2、初級文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人称代名詞と現在人称変化</li> <li>・sein、haben、werden</li> <li>・平叙文、命令文、疑問文（決定疑問文、疑問詞のある疑問文）</li> <li>・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性</li> <li>・格の用法</li> <li>・不規則変化動詞</li> <li>・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別</li> </ul>		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞の複数形と男性弱変化名詞</li> <li>・前置詞</li> </ul>	
	3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶表現</li> <li>・感謝とお詫び</li> <li>・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方</li> </ul>	
	4、文化および社会事情 <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け</li> </ul>	
	テキストは10課から構成されているので、前期は大体5課ぐらいまで進む。したがって3回の授業で1課を終えることになる。	
	回	内容
	1	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。
	2	発音の続き。第1課、動詞の現在人称変化、人称代名詞など。
	3	発音の続き。第1課の続き、練習問題。
	4	第2課、不規則な現在人称変化など。
	5	第2課の続き、命令形など。練習問題。
	6	第2課の続き、練習問題。
	7	第3課、格の用法、定冠詞と不定冠詞の格変化など。練習問題。
	8	第3課の続き、定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞など。練習問題。
	9	第3課の続き、練習問題。
	10	第4課、名詞の複数形、基数など。
	11	第4課の続き、非人称のes、西暦年の読み方、練習問題。
	12	第4課、月名、曜日名など、練習問題。
13	第5課、前置詞。	
14	第5課の続き、前置詞と定冠詞の融合形、ja/nein/dochの使い方など。	
15	第5課の続き、練習問題。	
16	第16回 前期末試験。	
キーワード		
教科書・教材・参考書	「一歩ずつー楽しいドイツ語」 小川さくえ、片岡律子 著、同学社	
成績評価の方法・基準等	共通試験（30％）、定期試験（約60％）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10％）を考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017002	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(M1～3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	M1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業のねらい	<p>（ドイツ語共通シラバスから）          ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する（接続法も含む）。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。</li> <li>・発音やドイツ語文の朗読練習もする。</li> <li>・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。</li> </ul>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。</li> <li>・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</li> </ul>		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。          （共通シラバス）</p> <p>1、発音</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母音：特にei、ey、eu、äu、ie の発音、長母音か短母音かの区別</li> <li>・子音：音節末のb・d・g、ch、語末のig、j、qu、s、ss、ß、語頭のsp・st、sch、tsch など</li> <li>・基数と西暦の読み方</li> </ul> <p>2、初級文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人称代名詞と現在人称変化</li> <li>・sein、haben、werden</li> <li>・平叙文、命令文、疑問文（決定疑問文、疑問詞のある疑問文）</li> <li>・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性</li> <li>・格の用法</li> <li>・不規則変化動詞</li> <li>・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別</li> </ul>		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞の複数形と男性弱変化名詞</li> <li>・前置詞</li> <li>・形容詞</li> </ul> <p>3、コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶表現</li> <li>・感謝とお詫び</li> <li>・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方</li> <li>・時刻の尋ね方、答え方</li> </ul> <p>4、文化および社会事情</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け</li> </ul> <p>テキストは15課から構成されているので、前期は大体7課ぐらいまで進む。したがって2回～2回半の授業で1課を終えることになる。</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発音練習の続き。第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第1課の続き、練習問題。第2課、名詞の性と冠詞。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第2課の続き、haben、疑問文、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第2課の続き、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第3課、名詞の複数形、定冠詞類。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第3課の続き、不定冠詞類、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第4課、不規則動詞の現在人称変化。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第4課の続き、命令文など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第5課、人称代名詞（2）、前置詞。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第5課の続き、並列の接続詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第6課、話法の助動詞、分離動詞。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第6課の続き、非分離動詞、時刻の表現、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第7課、形容詞の語尾変化。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>第7課の続き、序数詞など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>第16回 前期末試験。</td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	発音練習の続き。第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。	3	第1課の続き、練習問題。第2課、名詞の性と冠詞。	4	第2課の続き、haben、疑問文、練習問題。	5	第2課の続き、練習問題。	6	第3課、名詞の複数形、定冠詞類。	7	第3課の続き、不定冠詞類、練習問題。	8	第4課、不規則動詞の現在人称変化。	9	第4課の続き、命令文など、練習問題。	10	第5課、人称代名詞（2）、前置詞。	11	第5課の続き、並列の接続詞、練習問題。	12	第6課、話法の助動詞、分離動詞。	13	第6課の続き、非分離動詞、時刻の表現、練習問題。	14	第7課、形容詞の語尾変化。	15	第7課の続き、序数詞など、練習問題。	16	第16回 前期末試験。
	回	内容																																	
	1	文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																																	
	2	発音練習の続き。第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。																																	
	3	第1課の続き、練習問題。第2課、名詞の性と冠詞。																																	
	4	第2課の続き、haben、疑問文、練習問題。																																	
	5	第2課の続き、練習問題。																																	
	6	第3課、名詞の複数形、定冠詞類。																																	
	7	第3課の続き、不定冠詞類、練習問題。																																	
	8	第4課、不規則動詞の現在人称変化。																																	
	9	第4課の続き、命令文など、練習問題。																																	
	10	第5課、人称代名詞（2）、前置詞。																																	
	11	第5課の続き、並列の接続詞、練習問題。																																	
	12	第6課、話法の助動詞、分離動詞。																																	
	13	第6課の続き、非分離動詞、時刻の表現、練習問題。																																	
	14	第7課、形容詞の語尾変化。																																	
15	第7課の続き、序数詞など、練習問題。																																		
16	第16回 前期末試験。																																		
キーワード																																			
教科書・教材・参考書	「やってみよう！ドイツ語（CD付き）」 神竹道士、國光圭子、田島昭洋 著、白水社																																		
成績評価の方法・基準等	共通試験（30％）、定期試験（約60％）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10％）を考慮して評価する。																																		
受講要件（履修条件）																																			
本科目の位置づけ																																			
学習・教育目標																																			
備考（URL）																																			
備考（準備学習等）	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。																																		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017003	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(T1～5)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	T 1～5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅰで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	アルファベット つづりと発音	
	2	挨拶と自己紹介 1. 動詞の現在人称変化①：規則動詞	
	3	挨拶と自己紹介 2. 動詞の現在人称変化②：sein, haben	
	4	挨拶と自己紹介 定動詞の位置	
	5	挨拶と自己紹介 ja / nein / doch	
	6	買い物をする 定冠詞・不定冠詞＋名詞の格変化	
	7	買い物をする 人称代名詞	
	8	買い物をする 名詞の複数形	
	9	家族のことを話す 定冠詞類・不定冠詞類＋名詞の格変化	
	10	家族のことを話す 2格の使い方	

	11	家族のことを話す 否定文
	12	週末の予定は？ 動詞の現在人称変化③：不規則動詞
	13	週末の予定は？ 前置詞
	14	駅やレストランで 分離動詞・非分離動詞
	15	駅やレストランで 話法の助動詞
	16	定期試験
キーワード	たくさんの表現練習 段階的・反復的	
教科書・教材・参考書	教科書：山本淳 「じゃあ、またあした！ コンパクト版」 同学社（辞書は当面不要）	
成績評価の方法・基準等	○共通テスト（30%）、定期試験（50%）、平常点(20%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
本科目の位置づけ	ドイツ語の入門	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 それによって新たな知的視野を広げること。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017004	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(T6～10)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	T 6～1 0		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅰで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	アルファベット 発音、数詞・時間	
	2	動詞の現在人称変化（Ⅰ） 1. 動詞の現在人称変化	
	3	動詞の現在人称変化（Ⅰ） 2. 動詞の位置	
	4	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞 1. sein, haben, werden	
	5	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞 2. 並列の接続詞	
	6	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 1. 定冠詞	
	7	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 2. 不定冠詞 3. 否定冠詞	
	8	名詞の複数形・人称代名詞 1. 名詞の複数形	
	9	名詞の複数形・人称代名詞 2. 人称代名詞	
	10	不定冠詞類・定冠詞類 1. 不定冠詞類：所有冠詞	

	11 不定冠詞類・定冠詞類 2. 定冠詞類
	12 動詞の現在人称変化 (III) ・命令形 1. 不規則動詞の現在人称変化
	13 動詞の現在人称変化 (III) ・命令形 2. 命令形
	14 話法の助動詞・未来形 1. 話法の助動詞 2. 話法の助動詞の用法
	15 話法の助動詞・未来形 3. 話法の助動詞の現在人称変化 4. 話法の助動詞の位置 5. 未来形
	16 定期試験
キーワード	文法説明 練習問題 読解テキスト
教科書・教材・参考書	教科書：新倉・亀ヶ谷 「ゲナウ！ グラマティック」 第三書房（辞書は当面不要）
成績評価の方法・基準等	○共通テスト（30％）、定期試験（50％）、平常点(20％)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。
本科目の位置づけ	ドイツ語の入門
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 それによって新たな知的視野を広げること。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017005	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(D1・2_K1~4)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	D1・2_K1~4		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解（あるいは自己理解）についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えています。		
授業方法（学習指導法）	まず文法を説明し、その後練習問題の解答・解説を通して基礎を学びます。基本的に教科書に沿って進みますが、教科書に載っていないことの補足や例文などを適宜板書で説明します。		
授業到達目標	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。 課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業内容	既習事項の復習や問題の答え合わせでは任意に学生を指名して質問に答えてもらうことがあります。 油断せずに毎回復習予習をして授業に臨んでください。 難しい・分からないところがあるのならヒントを出して誘導するので遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	授業の説明、ドイツ語のアルファベット、あいさつ	
	2	発音	
	3	発音続き、第1課（主語になる人称代名詞等）	
	4	第1課続き（動詞の現在人称変化等）	
	5	第1課続き（sein, haben, werden等）	
6	第2課（名詞の性、定冠詞、名詞の格等）		

	7	第2課続き（不定冠詞等）
	8	第3課（複数形、男性弱変化名詞等）
	9	第4課（動詞の現在人称変化2等）
	10	第4課続き（命令等）
	11	第5課（冠詞類等）
	12	第5課続き（人称代名詞等）
	13	第6課（前置詞等）
	14	第6課続き（従属接続詞、副文等）
	15	前期復習、確認
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』（同学社）。 辞書については最初の授業の際に説明しますので、初回までに用意しておく必要はありません。	
成績評価の方法・基準等	基本的に共通テスト3割・定期テスト7割で評価しますが、 定期テストの7割分に関しては授業への取り組み方を見て多少加減する場合があります。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017006	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(L1～6_F1～3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業のねらい	ドイツ語の基本文法を習得し、ドイツ語を通してドイツに興味を持つこと。		
授業方法（学習指導法）	<p>ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。</p> <p>次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。</p>		
授業到達目標	人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発音できるようになること。		
	回	内容	
	1	映像で同世代のドイツの若者達を紹介、ドイツ語で自己紹介。	
	2	動詞の現在人称変化（1）	
	3	動詞の現在人称変化（2）	
	4	冠詞と名詞（1）	
	5	冠詞と名詞（2）	
	6	2回から5回までの復習	
	7	動詞の現在人称変化（3）	

授業内容	8	人称代名詞・冠詞類
	9	定形の位置
	10	7回から9回までの復習
	11	前置詞
	12	話法の助動詞
	13	動詞の3基本形（1）
	14	動詞の③基本形（2）
	15	11回から14回までの復習
	16	定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく。	
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者：本郷健治 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	共通テスト（30%）、小テスト（30%）、定期試験（40%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017007	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ(E1～8)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14：30-16：00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法（学習指導法）	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定5級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	アルファベット 発音の規則	
	2	ドイツ語のあいさつ 一人称と二人称 動詞の人称変化(1)	
	3	三人称 動詞の人称変化(2)	
	4	100間での数字 名詞の性 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格	
	5	代名詞 複数形	
	6	不定冠詞・否定冠詞の4格 実用表現	
	7	所有冠詞 人称代名詞の1格・4格	
	不規則変化動詞		

	8	実用表現
	9	命令形 実用表現
	10	文法補足（2格） 聞き取り練習
	11	話法の助動詞 聞き取り練習
	12	3格と前置詞 会話練習
	13	4格と前置詞 作文練習
	14	文法補足（未来形） 作文練習
	15	まとめ 会話練習
	16	試験
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書	新倉真矢子（他著）『ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示（自分の判断で買わないこと）	
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況（15%） 講義中の取り組み方（15%） ○定期試験（個別）（40%） 共通試験（30%）  ※共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎	
学習・教育目標	独検5級合格	
備考（URL）	<a href="http://h-semi.com/">http://h-semi.com/</a>	
備考（準備学習等）	予習、復習は必須	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590017008	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語Ⅰ (P1・2)		
編集担当教員	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	P 1・2		
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	授業のねらい：ドイツ語の初級文法を現在時制（+未来形）の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。		
授業方法（学習指導法）	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
	回	内容	
	1	辞書の説明、発音	
	2	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞	
	3	定冠詞、不定冠詞、格の用法	
	4	不規則動詞、命令形	
	5	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞	
	6	名詞の複数形	
	7	nichtとkein、目的語の語順	
8	前置詞		

	9	形容詞と形容詞の名詞化
	10	話法の助動詞、未来形
	11	序数と日付の表現
	12	分離動詞、非分離動詞
	13	従属接続詞と並列接続詞
	14	間接疑問文
	15	ランデスクンデ
	16	まとめと定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)	
成績評価の方法・基準等	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。 (筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績) 従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019001	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ (M4～6)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）	M4～6		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける		
授業のねらい	<p>（ドイツ語共通シラバスから） ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。</li> <li>・発音やドイツ語文の朗読練習もする。</li> <li>・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。</li> </ul>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。</li> <li>・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</li> </ul>		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 （共通シラバス）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、発音 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基数と西暦の読み方</li> </ul> </li> <li>2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞（不加語的用法と述語的用法）と形容詞名詞化</li> <li>・序数と日付の表現</li> <li>・話法の助動詞</li> <li>・未来形</li> <li>・分離動詞と非分離動詞</li> <li>・動詞の三基本形</li> <li>・現在分詞と過去分詞</li> <li>・過去人称変化</li> <li>・現在完了</li> </ul> </li> </ol>		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再帰代名詞と再帰動詞</li> <li>・zu不定詞</li> <li>・esの用法（自然現象、時刻の表現）</li> <li>・不定代名詞man</li> <li>・形容詞の原級、比較級、最上級</li> <li>・受動態と状態受動</li> <li>・関係代名詞</li> <li>・指示代名詞</li> </ul> <p>3、コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方</li> <li>・家族と趣味についての尋ね方と答え方</li> <li>・日付と時刻についての尋ね方と答え方</li> </ul>																																	
	<p>前期に引き続いて、6課から10課まで進む。3回の授業で1課を終える。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第6課、形容詞の用法、形容詞の格変化。</td></tr> <tr><td>2</td><td>第6課の続き、指示代名詞、比較級、最上級、練習問題。</td></tr> <tr><td>3</td><td>第6課の続き、序数、練習問題。</td></tr> <tr><td>4</td><td>第7課、話法の助動詞、未来形。</td></tr> <tr><td>5</td><td>第7課の続き、zu不定詞の用法。</td></tr> <tr><td>6</td><td>第7課の続き、zu不定詞句、練習問題。</td></tr> <tr><td>7</td><td>第8課、前つづり、分離動詞。</td></tr> <tr><td>8</td><td>第8課の続き、分離動詞、非分離動詞、練習問題。</td></tr> <tr><td>9</td><td>第8課の続き、従属の接続詞、並列の接続し、練習問題。</td></tr> <tr><td>10</td><td>第8課の続き、練習問題。</td></tr> <tr><td>11</td><td>第9課、動詞の三基本形、過去人称変化。</td></tr> <tr><td>12</td><td>第9課の続き、現在完了、過去完了、練習問題。</td></tr> <tr><td>13</td><td>第9課の続き、練習問題。第10課、再帰代名詞、再帰動詞。</td></tr> <tr><td>14</td><td>第10課の続き、受動態、状態受動、関係代名詞。</td></tr> <tr><td>15</td><td>第10課の続き、不定関係代名詞、その他の文法の補足、練習問題。</td></tr> <tr><td>16</td><td>第16回 後期末試験。</td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	第6課、形容詞の用法、形容詞の格変化。	2	第6課の続き、指示代名詞、比較級、最上級、練習問題。	3	第6課の続き、序数、練習問題。	4	第7課、話法の助動詞、未来形。	5	第7課の続き、zu不定詞の用法。	6	第7課の続き、zu不定詞句、練習問題。	7	第8課、前つづり、分離動詞。	8	第8課の続き、分離動詞、非分離動詞、練習問題。	9	第8課の続き、従属の接続詞、並列の接続し、練習問題。	10	第8課の続き、練習問題。	11	第9課、動詞の三基本形、過去人称変化。	12	第9課の続き、現在完了、過去完了、練習問題。	13	第9課の続き、練習問題。第10課、再帰代名詞、再帰動詞。	14	第10課の続き、受動態、状態受動、関係代名詞。	15	第10課の続き、不定関係代名詞、その他の文法の補足、練習問題。	16
回	内容																																	
1	第6課、形容詞の用法、形容詞の格変化。																																	
2	第6課の続き、指示代名詞、比較級、最上級、練習問題。																																	
3	第6課の続き、序数、練習問題。																																	
4	第7課、話法の助動詞、未来形。																																	
5	第7課の続き、zu不定詞の用法。																																	
6	第7課の続き、zu不定詞句、練習問題。																																	
7	第8課、前つづり、分離動詞。																																	
8	第8課の続き、分離動詞、非分離動詞、練習問題。																																	
9	第8課の続き、従属の接続詞、並列の接続し、練習問題。																																	
10	第8課の続き、練習問題。																																	
11	第9課、動詞の三基本形、過去人称変化。																																	
12	第9課の続き、現在完了、過去完了、練習問題。																																	
13	第9課の続き、練習問題。第10課、再帰代名詞、再帰動詞。																																	
14	第10課の続き、受動態、状態受動、関係代名詞。																																	
15	第10課の続き、不定関係代名詞、その他の文法の補足、練習問題。																																	
16	第16回 後期末試験。																																	
キーワード																																		
教科書・教材・参考書	「一歩ずつ－楽しいドイツ語」 小川さくえ、片岡律子 著、同学社																																	
成績評価の方法・基準等	共通試験（30％）、定期試験（約60％）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10％）を考慮して評価する。																																	
受講要件（履修条件）																																		
本科目の位置づけ																																		
学習・教育目標																																		
備考（URL）																																		
備考（準備学習等）	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。																																	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019002	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(M1～3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）	M1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける		
授業のねらい	<p>（ドイツ語共通シラバスから）          ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する（接続法も含む）。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p>		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。</li> <li>・発音やドイツ語文の朗読練習もする。</li> <li>・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。</li> </ul>		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。</li> <li>・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</li> </ul>		
	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。          （共通シラバス）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、発音             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基数と西暦の読み方</li> </ul> </li> <li>2、初級文法             <ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞（不加語的用法と述語的用法）と形容詞名詞化</li> <li>・序数と日付の表現</li> <li>・話法の助動詞</li> <li>・未来形</li> <li>・分離動詞と非分離動詞</li> <li>・動詞の三基本形</li> <li>・現在分詞と過去分詞</li> <li>・過去人称変化</li> <li>・現在完了</li> </ul> </li> </ol>		

## 授業内容

- ・再帰代名詞と再帰動詞
- ・zu不定詞
- ・esの用法（自然現象、時刻の表現）
- ・不定代名詞man
- ・形容詞の原級、比較級、最上級
- ・受動態と状態受動
- ・関係代名詞
- ・指示代名詞
- ・接続法

## 3、コミュニケーション

- ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方
- ・家族と趣味についての尋ね方と答え方
- ・日付についての尋ね方と答え方

前期に引き続いて、8課から15課まで進む。大体2回の授業で1課を終える。

回	内容
1	第8課、形容詞・副詞の比較表現。
2	第8課の続き、否定文、練習問題。
3	第9課、動詞の三基本形。
4	第9課の続き、過去形、zu不定詞、練習問題。
5	第10課、現在完了。
6	第10課の続き、従属接続詞、非人称主語のes、練習問題。
7	第11課、再帰代名詞、再帰動詞。
8	第11課の続き、分詞、未来形、練習問題。
9	第12課、関係代名詞。
10	第12課の続き、指示代名詞、練習問題。
11	第13課、受動文。
12	第13課の続き、練習問題。第14課、接続法第二式。
13	第14課の続き、接続法、練習問題。
14	第15課、接続法第一式。
15	第15課の続き、接続法、練習問題。
16	第16回 後期末試験。

## キーワード

## 教科書・教材・参考書

「やってみよう！ドイツ語（CD付き）」  
神竹道士、國光圭子、田島昭洋 著、白水社

## 成績評価の方法・基準等

共通試験（30%）、定期試験（約60%）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10%）を考慮して評価する。

## 受講要件（履修条件）

## 本科目の位置づけ

## 学習・教育目標

## 備考（URL）

## 備考（準備学習等）

やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019003	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T1～5)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-27		
対象学生（クラス等）	T 1～5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	駅やレストランで 接続詞	
	2	ベルリン旅行の後で / お礼の手紙 命令文	
	3	ベルリン旅行の後で / お礼の手紙 動詞の3基本形	
	4	ベルリン旅行の後で / お礼の手紙 過去の表現	
	5	ステップ・アップ文法項目 形容詞の格変化①	
	6	ステップ・アップ文法項目 形容詞の格変化②	
	7	ステップ・アップ文法項目 形容詞・副詞の比較	
	8	ステップ・アップ文法項目 zu不定詞句	
	9	ステップ・アップ文法項目 関係代名詞① 定関係代名詞	
	10	ステップ・アップ文法項目 関係代名詞② 不定関係代名詞 関係副詞	

	11	ステップ・アップ文法項目 再帰代名詞・再帰動詞
	12	ステップ・アップ文法項目 受動
	13	ステップ・アップ文法項目 接続法①
	14	ステップ・アップ文法項目 接続法②
	15	総まとめと質疑応答
	16	定期試験
キーワード	たくさんの表現練習 段階的・反復的	
教科書・教材・参考書	教科書：山本淳 「じゃあ、またあした！ コンパクト版」 同学社	
成績評価の方法・基準等	○共通テスト（30％）、定期試験（50％）、平常点(20％)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
本科目の位置づけ	ドイツ語の入門	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 それによって新たな知的視野を広げること。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019004	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T6～10)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-27		
対象学生（クラス等）	T 6～1 0		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法（学習指導法）	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 1. 前置詞	
	2	前置詞・再帰代名詞・再帰動詞 2. 再帰代名詞・再帰動詞	
	3	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 1. 分離動詞 2. 非分離動詞	
	4	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 3. 分離動詞と非分離動詞	
	5	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 4. zu不定詞	
	6	分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞 5. 従属の接続詞	
	7	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 1. 動詞の3基本形（Ⅰ）	
	8	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 2. 過去形	
	9	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形・現在完了形 3. 現在完了形	
10	動詞の3基本形（Ⅱ）・受動態 1. 動詞の3基本形（Ⅱ）		

	11 動詞の3基本形(Ⅱ)・受動態 2. 受動態
	12 形容詞の変化・比較・関係代名詞 1. 形容詞の変化
	13 形容詞の変化・比較・関係代名詞 2. 形容詞・副詞の比較変化
	14 形容詞の変化・比較・関係代名詞 3. 定関係代名詞
	15 形容詞の変化・比較・関係代名詞 4. 不定関係代名詞・関係副詞
	16 定期試験
キーワード	文法説明 練習問題 読解テキスト
教科書・教材・参考書	教科書：新倉・亀ヶ谷 「ゲナウ！ グラマティック」 第三書房
成績評価の方法・基準等	○共通テスト（30％）、定期試験（50％）、平常点(20％)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。
本科目の位置づけ	ドイツ語の入門
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 それによって新たな知的視野を広げること。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019005	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(D1・2_K1～4)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	D1・2_K1～4		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解（あるいは自己理解）についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業方法（学習指導法）	前期と同じくまず文法を説明し、その後に練習問題の解答・解説を行います。基本的に教科書に沿って進みますが、教科書に載っていないことの補足や例文などを適宜板書で説明します。		
授業到達目標	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。 課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
	既習事項の復習や問題の答え合わせでは任意に学生を指名して質問に答えてもらうことがあります。 油断せずに毎回復習予習をして授業に臨んでください。 難しい・分からないところがあるのならヒントを出して誘導するので遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	第7課（話法の助動詞等）	
	2	第7課続き（未来形等）	
	3	第8課（分離動詞・非分離動詞等）	
	4	第8課続き（再帰、非人称主語es等）	
	5	第9課（形容詞の語尾等）	

授業内容	6	第9課続き（形容詞の語尾、形容詞の名詞化等）
	7	第9課続き（形容詞の比較変化等）
	8	第10課（動詞の3基本形等）
	9	第10課続き（動詞の過去人称変化等）
	10	第11課（完了形等）
	11	第11課続き（完了形等）
	12	第12課（受動態等）
	13	第12課続き（zu不定詞、分詞等）
	14	第13課（指示代名詞、関係代名詞等）
	15	第13課続き（関係代名詞等）
	16	定期試験
	キーワード	
教科書・教材・参考書	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』（同学社）。	
成績評価の方法・基準等	基本的に共通テスト3割・定期テスト7割で評価しますが、定期テストの7割分に関しては授業への取り組み方を見て多少加減する場合があります。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019006	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(L1～6_F1～3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業のねらい	ドイツ語の基本文法を習得し、ドイツ語を通してドイツに興味を持つこと。		
授業方法（学習指導法）	<p>ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。</p> <p>次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に対して「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。</p>		
授業到達目標	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発音することができること。		
	回	内容	
	1	完了形（1）	
	2	完了形（2）	
	3	分離動詞	
	4	形容詞	
	5	1回から4回までの復習	
	6	再帰動詞、es の用法	
	7	関係代名詞（1）	

授業内容	8	関係代名詞（２）
	9	受動態
	10	６回から９回までの復習
	11	接続法（１）
	12	接続法（２）
	13	現在分詞・過去分詞、zu 不定詞
	14	１１回から１３回までの復習
	15	映像でグリム童話の成立過程を見る。
	16	定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく。	
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者：本郷健治 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	共通テスト（３０％）、小テスト（３０％）、定期試験（４０％）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019007	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(E1~8)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14：30-16：00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法（学習指導法）	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定4級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	ドイツ語Iの復習 試験の解説 口慣らし、耳慣らし	
	2	分離動詞 作文練習	
	3	zu不定詞 作文練習	
	4	再帰代名詞 会話練習	
	5	過去形 会話練習	
	6	現在完了型 聞き取り練習	
	7	従属接続詞 聞き取り練習	
8	比較級と最上級 インタビュー練習		

	9 非人称 文法補足（動詞の格・前置詞支配） インタビュー練習
	10 文法補足（受動態） メールを書く
	11 文法補足（形容詞の付加語用法） メールを書く
	12 文法補足（関係代名詞） 総合演習
	13 文法補足（接続法一式） 総合演習
	14 文法補足（接続法二式） 総合演習
	15 まとめ
	16 試験
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定
教科書・教材・参考書	新倉真矢子（他著）『ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示（自分の判断で買わないこと）
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況（15%） 講義中の取り組み方（15%） ○定期試験（個別）（40%） 共通試験（30%）  ※共通試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。
受講要件（履修条件）	特になし
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎
学習・教育目標	独検4級合格
備考（URL）	<a href="http://h-semi.com/">http://h-semi.com/</a>
備考（準備学習等）	予習、復習は必須



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590019008	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ (P1・2)		
編集担当教員	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	P1・2		
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況（0.8～1.2）に反映させます。		
授業方法（学習指導法）	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
	回	内容	
	1	動詞の三基本形、過去	
	2	現在完了	
	3	過去完了、未来完了	
	4	再帰動詞	
	5	zu不定詞	
	6	esの用法	
	7	比較	
8	受動態		

	9	関係代名詞
	10	指示代名詞
	11	不定関係代名詞、関係副詞
	12	接続法（1）
	13	接続法（2）
	14	ランデスクンデ
	15	総復習
	16	総復習と定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		小島／仲井『やあ、みんな！』同学社
成績評価の方法・基準等		共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。 （筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2＝成績）従って授業をおろそかにする人は、試験の合計点が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2										
開講期間													
必修選択	必	単位数	1.0										
時間割コード	20130590021001	科目番号	05900210										
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2L1～3_2F1～3)												
編集担当教員	目 正勝												
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝												
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目												
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目										
教室	[教養A棟]A-23												
対象学生（クラス等）	2L1～3、2F1～3												
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp												
担当教員研究室	非常勤講師室												
担当教員TEL	096-322-0277												
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp												
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしながら、応用段階へと進む。</li> <li>・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。</li> <li>・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。</li> </ul>												
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストは中級ドイツ語への橋渡しのための、文法の再確認、ドイツ語文の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。</li> <li>・文章の題材は、ごく身近な日常生活を取り上げたものが中心で、中には経済や技術の話題に及ぶものもある。多彩なドイツ語文だが、文章そのものは平易。教室では毎回3～4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。</li> <li>・できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。</li> <li>・朗読練習</li> <li>・折に触れてレポートを課す。</li> </ul>												
授業到達目標	<p>報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。</p>												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストは12課に分かれている。前期は6課ぐらいまで。したがって大体2回～2回半の授業で1課を終えるペースで進む。</li> <li>・それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3～4人の人に訳してもらう。そのあと、本文の内容についての設問、文法練習、表現練習など。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課、Spielzeugを読む。冠詞類、代名詞の格変化。前置詞など。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第1課の続き。第2課、Ein Haus im Grünenを読む。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第2課の続き、現在人称変化、分離動詞など。文法・表現練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課、Spielzeugを読む。冠詞類、代名詞の格変化。前置詞など。	2	第1課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。	3	第1課の続き。第2課、Ein Haus im Grünenを読む。	4	第2課の続き、現在人称変化、分離動詞など。文法・表現練習問題。
回	内容												
1	第1課、Spielzeugを読む。冠詞類、代名詞の格変化。前置詞など。												
2	第1課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。												
3	第1課の続き。第2課、Ein Haus im Grünenを読む。												
4	第2課の続き、現在人称変化、分離動詞など。文法・表現練習問題。												

授業内容	5	第2課の続き、文法・表現練習問題。
	6	第3課、Kamelを読む。zu不定詞、数詞の使い方、文法・表現練習問題。
	7	第3課の続き、文法・表現練習問題。
	8	第3課の続き、数詞、文法・表現練習問題。第4課、Eine billige Feteを読む。
	9	第4課の続き、時を表す語句、現在完了など、文法・表現練習問題。
	10	第4課の続き、話法の助動詞。
	11	第5課、Einen Kaffee bitte!を読む。動詞の名詞化、命令文など、文法・表現練習問題。
	12	第5課の続き、文法・表現練習問題。
	13	第5課の続き。第6課、Wo ist eine Verkäuferin?を読む。
	14	第6課の続き、3格の用法、再帰代名詞、文法・表現練習問題。
	15	第6課の続き、過去の文、文法・表現練習問題。
	16	第16回 前期末試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	「CD付き ドイツ語万華鏡」 Susanne Schermann、篠原敏昭、岡田恒雄 著、三修社
	成績評価の方法・基準等	定期試験（約90%）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10%）を考慮して評価する。
	受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590021002	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2P1・2)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	2P1・2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU（ヨーロッパ連合）の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法（学習指導法）	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。この授業で使用する教科書は以下のように各課6ページから成っています。		
授業内容	回	内容	
	1	第1課1ページ目：導入。文法にこだわらず、聞いて、見て、話してみましよう。	
	2	第1課2ページ目：文法。しっかりと文法のポイントを理解しましょう。	
	3	第1課3ページ目：文法練習。表現練習を兼ねた、前ページの文法の定着練習です。	
	4	第1課4ページ目：表現と音声。すぐに使えるフレーズを覚えましょう。発音のポイントを練習。	
	5	第1課5ページ目：スキットの聞き取り。大切な情報を聞き取り、それをまとめる作業をします。	
	6	第1課6ページ目：スキット。ここでじっくりとスキットを読んで理解しましょう。	
	7	第2課1ページ目：視覚と聴覚をフルに活用してドイツ語の情報を受け取ります。	
	8	第2課2ページ目：その課の重要な文法事項をコンパクトにまとめてあります。	

	9	第2課3ページ目：ここで文法の基礎をしっかりと固めましょう。
	10	第2課4ページ目：日本人に特に難しい発音を練習します。
	11	第2課5ページ目：次ページのスキットの理解に必要な予備知識を仕入れてから聞き取ります。
	12	第2課6ページ目：最後は調べて発表する課題があります。是非グループで取り組んでください。
	13	第3課1ページ目：以下、第1課、第2課と同様の構成に基づいて授業は進行します。
	14	第3課2ページ目：授業の進度はドイツ語Ⅲでは最大限第6課までを見込んでいます。
	15	第3課3ページ目：ただし、クラスの規模、受講生の意欲や習熟度などにより進度は変わります。
	16	定期試験
キーワード	楽しくパートナー練習	
教科書・教材・参考書	教科書：バイアー田口・清野 「一緒に話そう、ドイツ語」 同学社	
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績（50％）、2. 毎時間の口頭発表および課題の提出（50％）で評価します。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回る事。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
本科目の位置づけ	ドイツ語の基本文法の定着と応用。	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 それによって新たな知的視野を広げること。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590021003	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2E1～8)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	1年次で学習した文法の復習・補足をしながらドイツの時事問題を扱ったテキストを読み、ドイツ語の初級から中級へのレベルアップをねらいます。		
授業方法（学習指導法）	毎回授業の前半で教科書の中の文法練習問題に取り組み、その後テキストを読んでゆきます。教科書には10章分のテキストがありますが、前期／後期でそれぞれ2～3章を選んで読みます。 。（どの章を読むかは授業中にアンケートをとります。）		
授業到達目標	まだ理解していない／定着していない文法事項を確認し問題を解消すること、辞書を使えば一定の時間内にテキストの大まかな内容を把握できるようになることを目指します。		
授業内容	練習問題、テキスト読解とも、授業中の時間をいくつか区切りその場で取り組んでもらいます。 解答等の確認時には任意に学生を指名して答えてもらいますが、分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示をしてください。 知らないことや間違いがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、人称代名詞・再帰代名詞（44ページ）	
	2	定冠詞(9)、読解	
	3	不定冠詞(9)、読解	
	4	ドイツの16州(53)、読解	
	5	前置詞(33)、読解	
6	EU加盟国(61)、読解		

	7	話法の助動詞（現在人称変化）(16)、読解
	8	話法の助動詞（過去人称変化）(16)、読解
	9	複数形(33)、読解
	10	関係代名詞(44)、読解
	11	冠詞類(44)、読解
	12	冠詞類(17)、読解
	13	形容詞の語尾変化(25)、読解
	14	形容詞の語尾変化(25)、読解
	15	読解、復習
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラープ、石井寿子『Neuigkeiten aus Deutschland 2011/12（時事ドイツ語2013年版）』（朝日出版社）。
成績評価の方法・基準等		基本的に定期テストの点数で評価しますが、授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合があります。
受講要件（履修条件）		特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590021004	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2D1・2_2T1～3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法（学習指導法）	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業内容	回	内容	
	1	映像で同世代のドイツの若者達の生活を見る。ドイツ語で自己紹介。	
	2	自分の1日の生活をドイツ語で表現する。	
	3	列車の旅。時刻表の見方。	
	4	レストランで注文する。	
	5	食事代を支払う。	
	6	2回から5回までの復習	
	7	郵便局はどこにありますか。	
	8	この近くにスーパーはありますか。	
	9	日本への手紙はいくらですか。	
	10	そちらの天気はどうですか。	
	11	7回から10回までの復習	
	12	誕生日に何をプレゼントしますか。	
13	カメラ店で。		

	14	ドイツの祝日。
	15	1 2回から1 4回までの復習
	16	定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト（50%）、定期試験（50%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590021005	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2M(独1))		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法（学習指導法）	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業内容	回	内容	
	1	映像で同世代のドイツの若者達の生活を見る。ドイツ語で自己紹介。	
	2	自分の1日の生活をドイツ語で表現する。	
	3	列車の旅。時刻表の見方。	
	4	レストランで注文する。	
	5	食事代を支払う。	
	6	2回から5回までの復習	
	7	郵便局はどこにありますか。	
	8	この近くにスーパーはありますか。	
	9	日本への手紙はいくらですか。	
	10	そちらの天気はどうですか。	
	11	7回から10回までの復習	
	12	誕生日に何をプレゼントしますか。	
13	カメラ店で。		

	14	ドイツの祝日。
	15	1 2回から1 4回までの復習
	16	定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト（50%）、定期試験（50%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火1										
開講期間													
必修選択	必	単位数	1.0										
時間割コード	20130590021006	科目番号	05900210										
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2T4～10)												
編集担当教員	田口 武史												
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史												
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目												
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目										
教室	[教養A棟]A-13												
対象学生（クラス等）													
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp												
担当教員研究室	非常勤講師控室												
担当教員TEL													
担当教員オフィスアワー	授業前後												
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返りつつ、より高度な読解、聞き取り、問題演習、会話練習を通して、ドイツ語能力全般のレベルアップを目指す。 教科書で取り上げられている話題を手掛かりに、ドイツ的思考法と日本的思考法を相対的に考察する。												
授業方法（学習指導法）	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。												
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。</li> <li>・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。</li> <li>・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。</li> <li>・ドイツ語での「質問」と「答え」が表現できるようになる。</li> <li>・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。</li> </ul>												
	<p>*第1、2回の教材は、初回授業で配布。 *第3回以降は、予習範囲を指示。和訳だけではなく、文法的な分析ができるように、辞書を駆使して予習してくることを。朗読の練習もすること。 *定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分後に開始し（それ以降入室した学生は受験資格なし）、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 *積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション（ビデオ）、基礎文法の振り返り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>基礎文法の振り返り</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Lektion1：Die erste Nachricht 「第一報」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Lektion1：Die erste Nachricht 「第一報」</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション（ビデオ）、基礎文法の振り返り	2	基礎文法の振り返り	3	Lektion1：Die erste Nachricht 「第一報」	4	Lektion1：Die erste Nachricht 「第一報」
回	内容												
1	イントロダクション（ビデオ）、基礎文法の振り返り												
2	基礎文法の振り返り												
3	Lektion1：Die erste Nachricht 「第一報」												
4	Lektion1：Die erste Nachricht 「第一報」												

授業内容	5	Lektion2 : Die Rückholung der Studenten 「留学生の帰国」
	6	Lektion2 : Die Rückholung der Studenten 「留学生の帰国」
	7	復習
	8	Lektion3 : Die Spendenaktionen 「義援活動」
	9	Lektion3 : Die Spendenaktionen 「義援活動」
	10	Lektion4 : Wohin mit den Spenden? 「義援金の行方」
	11	Lektion4 : Wohin mit den Spenden? 「義援金の行方」
	12	復習
	13	Lektion5 : Die Anti-Atomkraft-Bewegung 「原発反対運動」
	14	Lektion5 : Die Anti-Atomkraft-Bewegung 「原発反対運動」
	15	前期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解・表現	
教科書・教材・参考書	Beate Wonde/石井寿子共編『3. 11 福島』同学社、2012年	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業内での発言や返答、小テストなど）50%、定期試験50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2										
開講期間													
必修選択	必	単位数	1.0										
時間割コード	20130590023007	科目番号	05900230										
授業科目名	●ドイツ語IV(2M(独2)_2K1~4)												
編集担当教員	田口 武史												
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史												
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目												
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目										
教室	[教養A棟]A-14												
対象学生（クラス等）													
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp												
担当教員研究室	非常勤講師控室												
担当教員TEL													
担当教員オフィスアワー	授業前後												
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返りつつ、より高度な読解、聞き取り、問題演習、会話練習を通して、ドイツ語能力全般のレベルアップを目指す。 教科書で取り上げられている話題を手掛かりに、ドイツ的思考法と日本的思考法を相対的に考察する。												
授業方法（学習指導法）	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。												
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。</li> <li>・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。</li> <li>・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。</li> <li>・ドイツ語での「質問」と「答え」が表現できるようになる。</li> <li>・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。</li> </ul>												
	<p>*第1、2回の教材は、初回授業で配布。          *第3回以降は、予習範囲を指示。和訳だけではなく、文法的な分析ができるように、辞書を駆使して予習してくること。朗読の練習もすること。          *定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分後に開始し（それ以降入室した学生は受験資格なし）、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。          *積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期（試験）の振り返り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	前期（試験）の振り返り	2	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」	3	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」	4	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」
回	内容												
1	前期（試験）の振り返り												
2	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」												
3	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」												
4	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」												

授業内容	5	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」
	6	復習
	7	Lektion8：Die Abschaltung der deutschen Reaktoren「ドイツの原発廃止」
	8	Lektion8：Die Abschaltung der deutschen Reaktoren「ドイツの原発廃止」
	9	Lektion9：Fossile Brennstoffe「化石燃料」
	10	Lektion9：Fossile Brennstoffe「化石燃料」
	11	復習
	12	Lektion10：Alternative Energien「代替エネルギー」
	13	Lektion10：Alternative Energien「代替エネルギー」
	14	復習
	15	前期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解・表現	
教科書・教材・参考書	Beate Wonde/石井寿子共編『3. 11 福島』同学社、2012年	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業内での発言や返答、小テストなど）50%、定期試験50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590023001	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2L1～3_2F1～3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）	2L1～3、2F1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。</li> <li>・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。</li> <li>・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。</li> </ul>		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストは中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認、ドイツ語文の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。</li> <li>・文章の題材は、ごく身近な日常生活を取り上げたものが中心で、中には経済や技術の話題に及ぶものもある。多彩なドイツ語文だが、文章そのものは平易。教室では毎回3～4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。</li> <li>・できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。</li> <li>・朗読練習</li> <li>・折に触れてレポートを課す。</li> </ul>		
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期は7課から始めて12課まで読む。大体2回～2回半の授業で1課を終えるペースで進む。</li> <li>・それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3～4人の人に訳してもらう。そのあと、本文の内容についての設問、文法練習、表現練習など。</li> </ul>		
	回	内容	
	1	第7課、Intelligente Technikを読む。過去分詞と現在分詞の用法、文法・表現練習問題。	
	2	第7課の続き、文法・表現練習問題。	
	3	第7課の続き。第8課、Ein Markenartikelを読む。	
	4	第8課の続き、過去形、形容詞の名詞化、文法・表現練習問題。	

授業内容	5	第8課の続き、数の読み方。	
	6	第9課、Raum und Zeitを読む。比較表現、文法・表現練習問題。	
	7	第9課の続き、kennenとwissen、文法・表現練習問題。	
	8	第9課の続き。第10課、Die Grenzen der Technikを読む。	
	9	第10課の続き、副文、関係代名詞、文法・表現練習問題。	
	10	第10課の続き、前置詞、文法・表現練習問題。	
	11	第11課、Wir haben (k)eine Katzeを読む。指示代名詞、受動態、文法・表現練習問題。	
	12	第11課の続き。呼応表現、文法・表現練習問題。	
	13	第11課の続き。第12課、Ein deutsches Autoを読む。	
	14	第12課の続き、最上級の用法、接続法、文法・表現練習問題。	
	15	第12課の続き、補足練習問題。補足独語文。	
	16	第16回 後期末試験	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	「CD付き ドイツ語万華鏡」 Susanne Schermann、篠原敏昭、岡田恒雄 著、三修社	
	成績評価の方法・基準等	定期試験（約90%）、および平素の学習成績、授業への参加状況（約10%）を考慮して評価する。	
	受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590023002	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2P1・2)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-27		
対象学生（クラス等）	2P1・2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU（ヨーロッパ連合）の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法（学習指導法）	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅲまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。この授業で使用する教科書は以下のように各課6ページから成っています。		
授業内容	回	内容	
	1	第7課1ページ目：導入。文法にこだわらず、聞いて、見て、話してみましよう。	
	2	第7課2ページ目：文法。しっかりと文法のポイントを理解しましょう。	
	3	第7課3ページ目：文法練習。表現練習を兼ねた、前ページの文法の定着練習です。	
	4	第7課4ページ目：表現と音声。すぐに使えるフレーズを覚えましょう。発音のポイントを練習。	
	5	第7課5ページ目：スキットの聞き取り。大切な情報を聞き取り、それをまとめる作業をします。	
	6	第7課6ページ目：スキット。ここでじっくりとスキットを読んで理解しましょう。	
	7	第8課1ページ目：視覚と聴覚をフルに活用してドイツ語の情報を受け取ります。	
	8	第8課2ページ目：その課の重要な文法事項をコンパクトにまとめてあります。	

	9	第8課3ページ目：ここで文法の基礎をしっかりと固めましょう。
	10	第8課4ページ目：日本人に特に難しい発音を練習します。
	11	第8課5ページ目：次ページのスキットの理解に必要な予備知識を仕入れてから聞き取ります。
	12	第8課6ページ目：最後は調べて発表する課題があります。是非グループで取り組んでください。
	13	第9課1ページ目：以下、第7課、第8課と同様の構成に基づいて授業は進行します。
	14	第9課2ページ目：授業の進度はドイツ語IVでは最大限第12課までを見込んでいます。
	15	第9課3ページ目：ただし、クラスの規模、受講生の意欲や習熟度などにより進度は変わります。
	16	定期試験
キーワード	楽しくパートナー練習	
教科書・教材・参考書	教科書：バイアー田口・清野 「一緒に話そう、ドイツ語」 同学社	
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験（50%）、2. 毎時間の口頭発表と課題の提出（50%）で評価します。	
受講要件（履修条件）	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
本科目の位置づけ	ドイツ語基本文法の定着と応用。	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 それによって新たな知的視野を広げること。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590023003	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2E1～8)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	1年次で学習した文法の復習・補足をしながらドイツの時事問題を扱ったテキストを読み、ドイツ語の初級から中級へのレベルアップをねらいます。		
授業方法（学習指導法）	毎回授業の前半で教科書の中の文法練習問題に取り組み、その後テキストを読んでゆきます。教科書には10章分のテキストがありますが、前期／後期でそれぞれ2～3章を選んで読みます。 （どの章を読むかは授業中にアンケートをとります。）		
授業到達目標	まだ理解していない／定着していない文法事項を確認し問題を解消すること、辞書を使えば一定の時間内にテキストの大まかな内容を把握できるようになることを目指します。		
授業内容	練習問題、テキスト読解とも、授業中の時間をいくつか区切りその場で取り組んでもらいます。 解答等の確認時には任意に学生を指名して答えてもらいますが、分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示をしてください。 知らないことや間違いがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	数の読み方(85)、読解	
	2	数の読み方(85)、読解	
	3	数の読み方(85)、読解	
	4	形容詞の比較変化(69)、読解	
	5	形容詞の比較変化(69)、読解	
6	動詞の三基本形(32)、読解		

	7	現在人称変化(32)、読解
	8	動詞の三基本形(8)、読解
	9	過去人称変化(8)、読解
	10	動詞(60)、読解
	11	動詞(68ab)、読解
	12	動詞(68c)、読解
	13	直説法・接続法(76)、読解
	14	直説法・接続法(76)、読解
	15	読解、復習
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	アンドレア・ラープ、石井寿子『Neuigkeiten aus Deutschland 2011/12 (時事ドイツ語2013年版)』(朝日出版社)。	
成績評価の方法・基準等	基本的に定期テストの点数で評価しますが、授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合があります。	
受講要件(履修条件)	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590023004	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2D1・2_2T1～3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法（学習指導法）	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業内容	回	内容	
	1	パーティーには何を着ますか。	
	2	この白いワンピースをどう思いますか。	
	3	このゴミはどこに捨てますか。	
	4	ドイツの学校の環境プロジェクト。	
	5	1回から4回までの復習	
	6	ここで犬を放してはいけません。	
	7	何歳で、何ができますか。	
	8	ドイツの義務教育は何年ですか。	
	9	パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません。	
	10	6回から9回までの復習。	
	11	復活祭には何をしますか。	
	12	カーニバル。	
13	ドイツと日本の年末年始。		

	14	クリスマス。
	15	11回から14回までの復習
	16	定期試験。
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト（50%）、定期試験（50%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130590023005	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2M(独1))		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法（学習指導法）	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業内容	回	内容	
	1	パーティーに何を着ますか。	
	2	この白いワンピースをどう思いますか。	
	3	このゴミはどこに捨てますか。	
	4	ドイツの学校の環境プロジェクト、	
	5	1回から4回までの復習	
	6	ここで犬を放してはいけません。	
	7	何歳で、何ができますか。	
	8	ドイツの義務教育は何年ですか。	
	9	パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません。	
	10	6回から9回までの復習。	
	11	復活祭には何をしますか。	
	12	カーニバル。	
13	ドイツと日本の年末年始。		

	14	クリスマス。
	15	11回から14回までの復習。
	16	定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく。	
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、（株）三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト（50%）、定期試験（50%）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1										
開講期間													
必修選択	必	単位数	1.0										
時間割コード	20130590023006	科目番号	05900230										
授業科目名	●ドイツ語IV(2T4～10)												
編集担当教員	田口 武史												
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史												
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目												
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目										
教室	[教養A棟]A-14												
対象学生（クラス等）													
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp												
担当教員研究室	非常勤講師控室												
担当教員TEL													
担当教員オフィスアワー	授業前後												
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返りつつ、より高度な読解、聞き取り、問題演習、会話練習を通して、ドイツ語能力全般のレベルアップを目指す。 教科書で取り上げられている話題を手掛かりに、ドイツ的思考法と日本的思考法を相対的に考察する。												
授業方法（学習指導法）	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。												
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。</li> <li>・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。</li> <li>・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。</li> <li>・ドイツ語での「質問」と「答え」が表現できるようになる。</li> <li>・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。</li> </ul>												
	<p>*第1、2回の教材は、初回授業で配布。 *第3回以降は、予習範囲を指示。和訳だけではなく、文法的な分析ができるように、辞書を駆使して予習してくること。朗読の練習もすること。 *定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分後に開始し（それ以降入室した学生は受験資格なし）、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 *積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期（試験）の振り返り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	前期（試験）の振り返り	2	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」	3	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」	4	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」
回	内容												
1	前期（試験）の振り返り												
2	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」												
3	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」												
4	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」												

授業内容	5	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」
	6	復習
	7	Lektion8：Die Abschaltung der deutschen Reaktoren「ドイツの原発廃止」
	8	Lektion8：Die Abschaltung der deutschen Reaktoren「ドイツの原発廃止」
	9	Lektion9：Fossile Brennstoffe「化石燃料」
	10	Lektion9：Fossile Brennstoffe「化石燃料」
	11	復習
	12	Lektion10：Alternative Energien「代替エネルギー」
	13	Lektion10：Alternative Energien「代替エネルギー」
	14	復習
	15	前期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解・表現	
教科書・教材・参考書	Beate Wonde/石井寿子共編『3. 11 福島』同学社、2012年	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業内での発言や返答、小テストなど）50%、定期試験50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 ドイツ語**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2										
開講期間													
必修選択	必	単位数	1.0										
時間割コード	20130590023007	科目番号	05900230										
授業科目名	●ドイツ語IV(2M(独2)_2K1~4)												
編集担当教員	田口 武史												
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史												
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目												
対象年次	2年, 3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	演習科目										
教室	[教養A棟]A-14												
対象学生（クラス等）													
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp												
担当教員研究室	非常勤講師控室												
担当教員TEL													
担当教員オフィスアワー	授業前後												
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返りつつ、より高度な読解、聞き取り、問題演習、会話練習を通して、ドイツ語能力全般のレベルアップを目指す。 教科書で取り上げられている話題を手掛かりに、ドイツ的思考法と日本的思考法を相対的に考察する。												
授業方法（学習指導法）	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。												
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。</li> <li>・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。</li> <li>・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。</li> <li>・ドイツ語での「質問」と「答え」が表現できるようになる。</li> <li>・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。</li> </ul>												
	<p>*第1、2回の教材は、初回授業で配布。 *第3回以降は、予習範囲を指示。和訳だけではなく、文法的な分析ができるように、辞書を駆使して予習してくることを。朗読の練習もすること。 *定期的に小テストを行う。小テストは、授業開始15分後に開始し（それ以降入室した学生は受験資格なし）、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 *積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期（試験）の振り返り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	前期（試験）の振り返り	2	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」	3	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」	4	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」
回	内容												
1	前期（試験）の振り返り												
2	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」												
3	Lektion6：Die Rolle der Medien「メディアの役割」												
4	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」												

授業内容	5	Lektion7：Tschernobyl「チェルノブイリ」
	6	復習
	7	Lektion8：Die Abschaltung der deutschen Reaktoren「ドイツの原発廃止」
	8	Lektion8：Die Abschaltung der deutschen Reaktoren「ドイツの原発廃止」
	9	Lektion9：Fossile Brennstoffe「化石燃料」
	10	Lektion9：Fossile Brennstoffe「化石燃料」
	11	復習
	12	Lektion10：Alternative Energien「代替エネルギー」
	13	Lektion10：Alternative Energien「代替エネルギー」
	14	復習
	15	前期のまとめ、模擬試験
	16	定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解・表現	
教科書・教材・参考書	Beate Wonde/石井寿子共編『3. 11 福島』同学社、2012年	
成績評価の方法・基準等	平素の学習（予習、宿題、授業内での発言や返答、小テストなど）50%、定期試験50%	
受講要件（履修条件）	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	独和辞書（電子辞書も可）を準備し、毎回持参すること。	

